

第10回気候変動適応中部広域協議会

豊田市の熱中症対策について

令和5年9月12日

愛知県豊田市環境部
環境政策課



SDGs

未来都市
とよた



また豊田市で全国一の暑さ！？

- 今年7月に全国で一番の暑さを2回記録
 - ・ 7月 2日（今年県内初の猛暑日） 35.3度
 - ・ 7月17日（海の日） 39.1度
- 過去の最高気温と記録日

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
日最高気温 (度)	39.8 (2022/7/1)	39.7 (2018/7/18)	39.6 (2018/8/3)	39.6 (2018/7/23)	39.5 (2018/7/22)
	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
日最高気温	39.3 (2022/6/30)	39.2 (2023/7/26)	39.2 (2018/8/5)	39.1 (2023/7/17)	39.1 (2018/8/6)

豊田市の気温等の変化

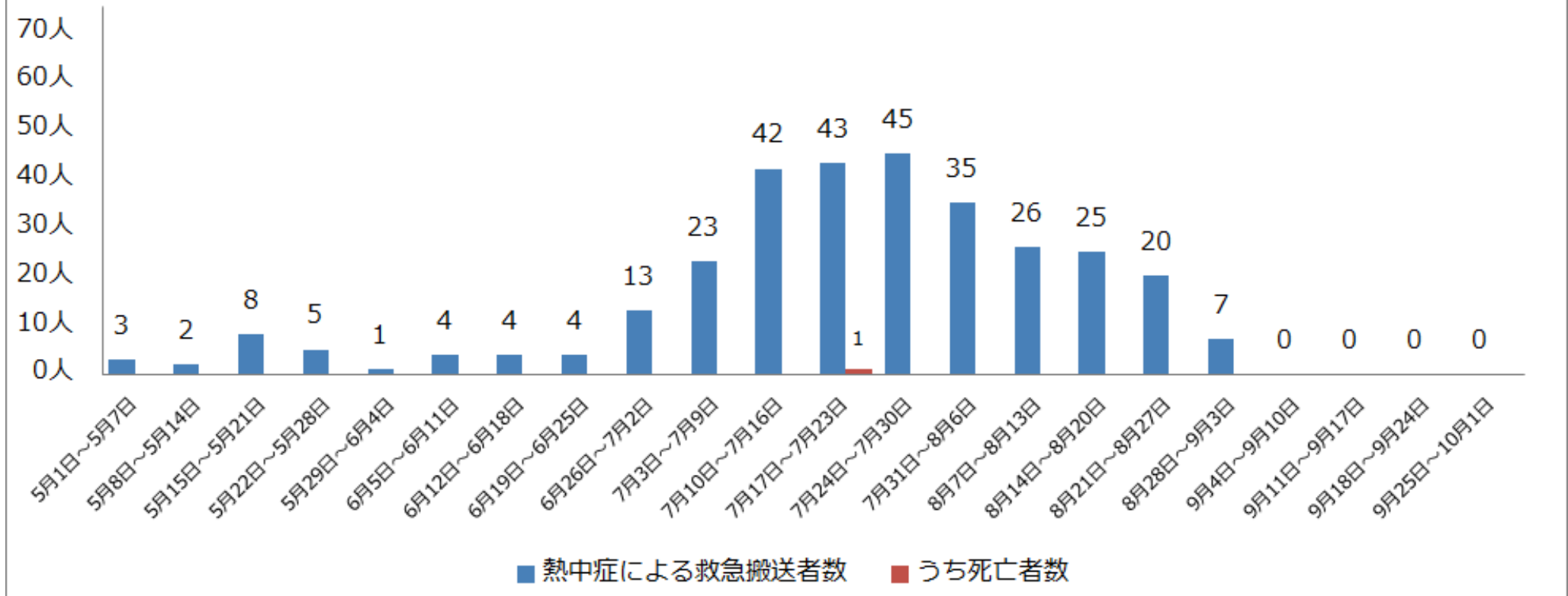
- 年平均気温は**上昇傾向**、
真夏日・猛暑日についても**増加傾向**
- 年降水量には変化傾向は確認できない



	観測地点	
	豊田（高町） 標高75m	稲武 標高505m
①平均気温	上昇傾向 (50年あたり約2.6℃上昇)	上昇傾向 (50年あたり約1.7℃上昇)
②真夏日	統計開始の10年間と比べて 約1.5倍増加 (直近10年の平均約77日)	統計開始の10年間と比べて 約3倍増加 (直近10年の平均約34日)
③猛暑日	統計開始の10年間と比べて 約13倍増加 (直近10年の平均約20日)	2018年に初めて2日観測
④冬日	減少傾向	やや減少
⑤降水量	明瞭な変化は見られない	
⑥短時間豪雨	明瞭な変化は見られない	

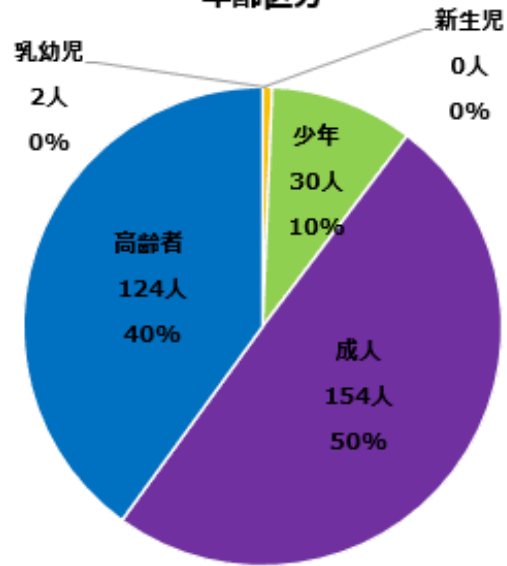
令和5年度熱中症による緊急搬送状況について

熱中症による救急搬送状況の週別推移（令和5年）

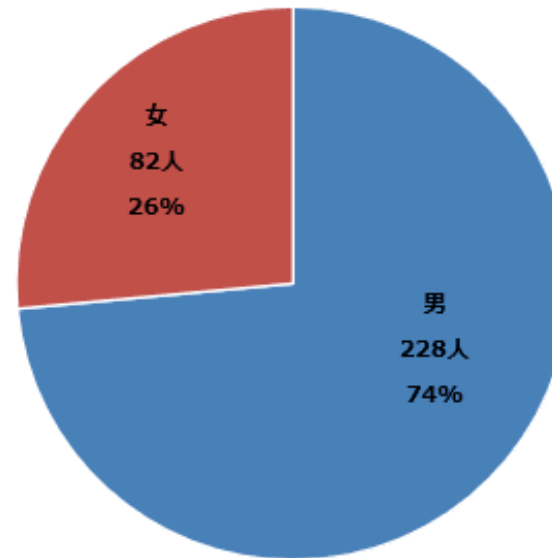


令和5年熱中症の発生状況（分類別）

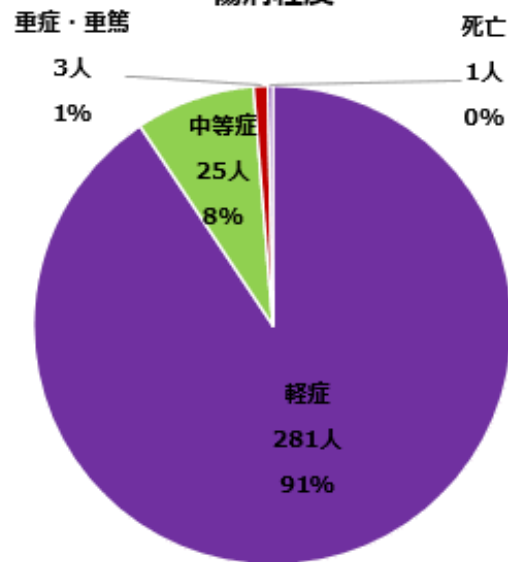
年齢区分



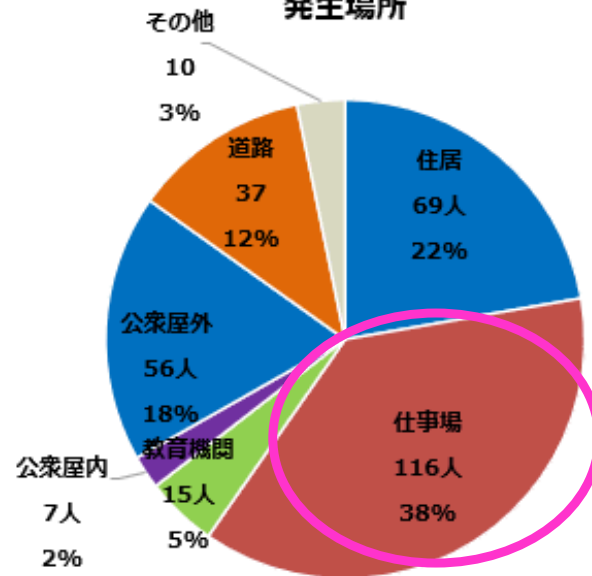
性別



傷病程度

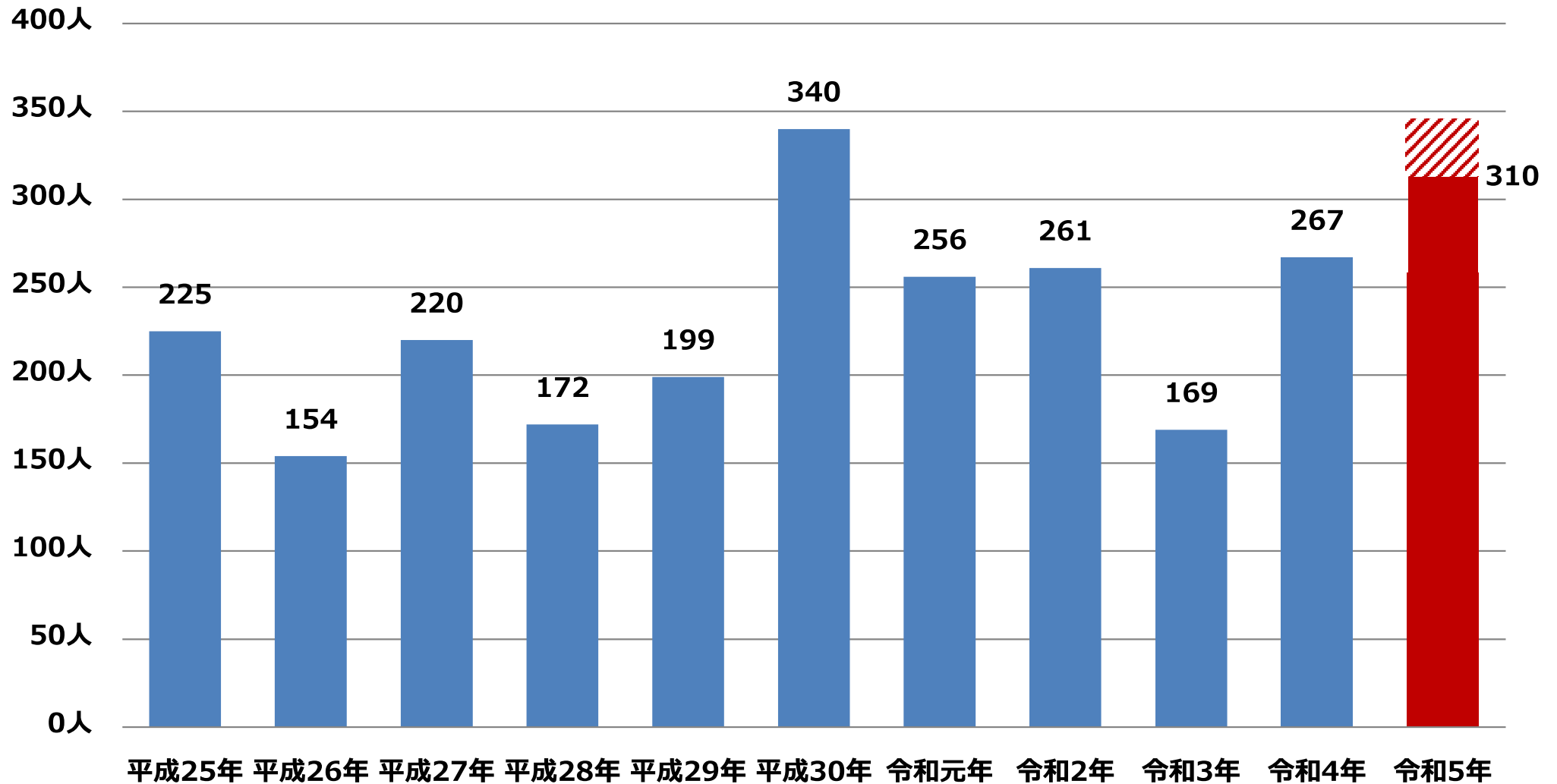


発生場所



豊田市の特徴

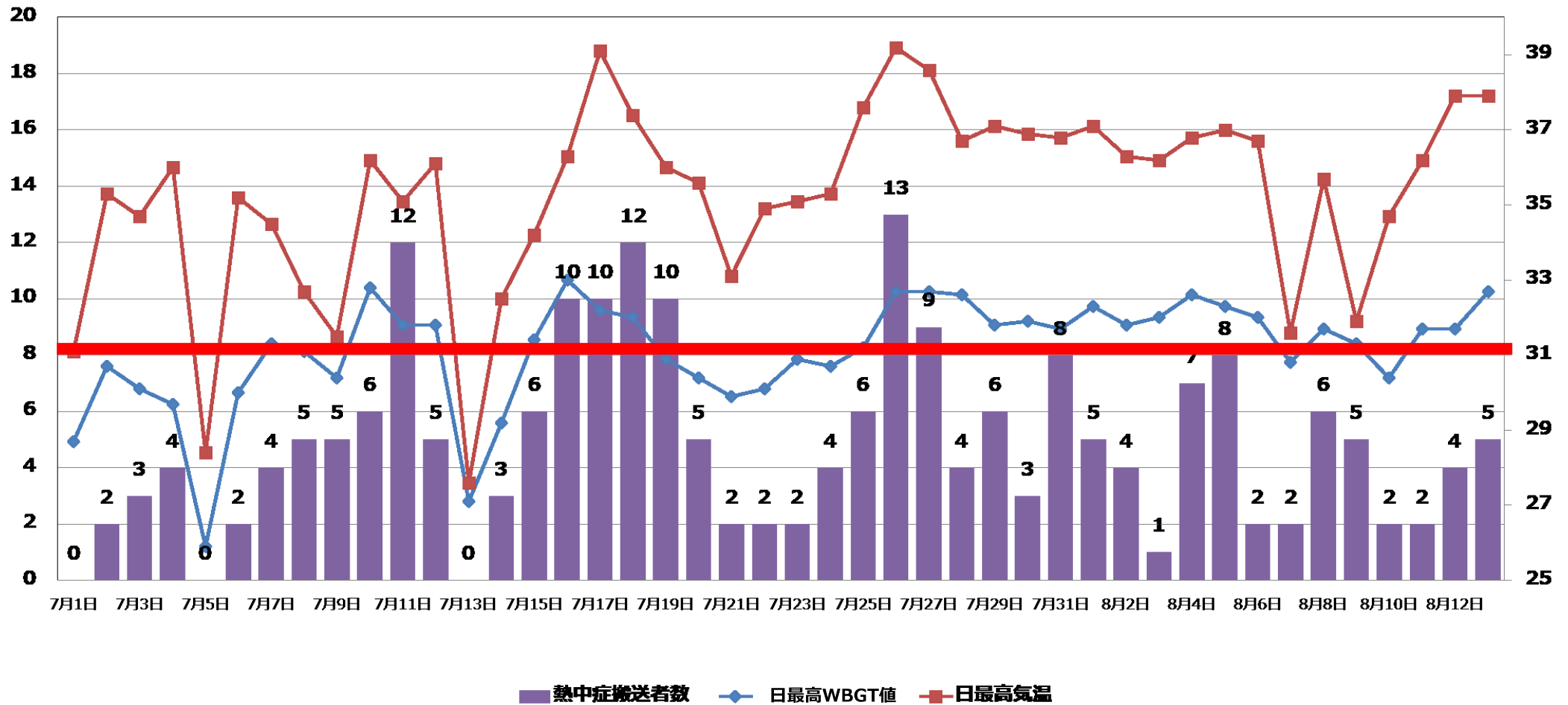
熱中症による救急搬送者数の経年推移



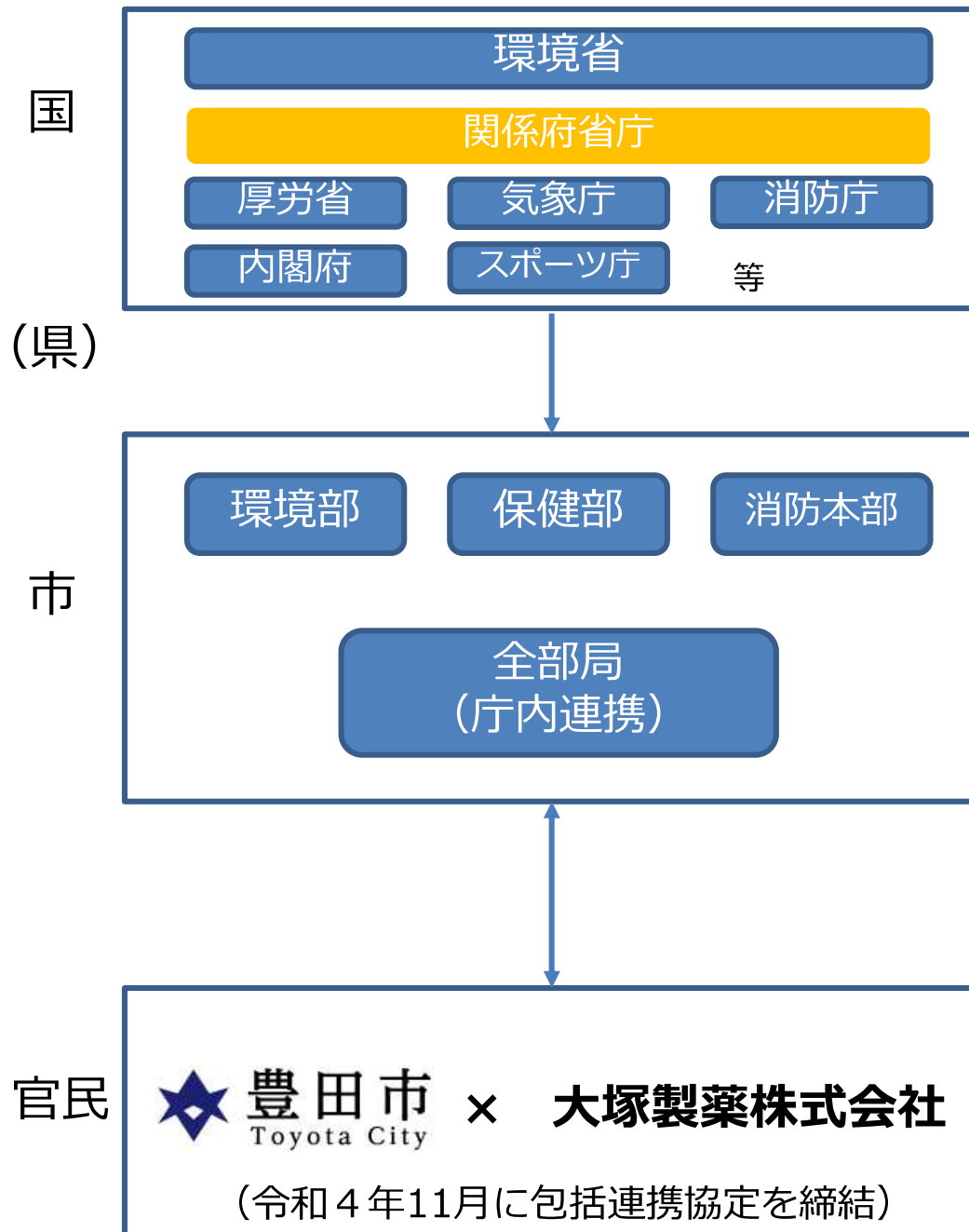
熱中症と気温の関係

令和5年7・8月の熱中症搬送者数及び気温状況

日最高気温 (°C)
日最高WBGT値 (°C)
熱中症搬送者数 (人)



熱中症対策の取組について



- 法改正や実行計画、ガイドラインの作成
- 熱中症アラートの運用・暑さ指数の情報提供
- 熱中症予防強化キャンペーン（関係府省庁）

：

- 熱中症予防の普及啓発、情報提供
- クーリングシェルターの設置
- 子育て・教育・市民生活・観光など**各現場で**の熱中症対策の実施や働きかけ
- 気候変動適応策の推進

- 熱中症対策の人材育成事業
「熱中症対策アンバサダー講座」等の実施

熱中症対策の事例① 市民等への啓発

- 市民等に無料でチラシ等を配布して、熱中症予防を啓発
- 市のHPで、暑さ指数のバナー表示や熱中症警戒アラートの情報発信
また、環境省「熱中症予防情報サイト」へリンク



＜市役所の熱中症啓発ブース＞

熱中症予防に関する啓発物は、各省庁や熱中症声かけプロジェクトなど既存のコンテンツが充実しており、使いやすい。

● 地域の身近な熱中症対策事例の紹介

⇒当たり前前の日常の中で、運営側は日々努力、改善している様子を知ってもらうことで、利用者にも行動実践を促したい。



豊田スタジアムを本拠地とする名古屋グランパスさんに、夏の熱中症対策の取組についてお聞きしました。

熱中症対策を強化したきっかけを教えてください。

7～8月の期間は、特に暑くなるため、熱中症対策を強化しています。
毎年「熱中症」に警戒をしていましたが、特に **2018年夏の記録的な暑さをきっかけ**にクラブとしてより対策を強化することになりました。名古屋グランパスにとって、2018年はJ1に復帰した年でもあり、豊田スタジアムで初の4万人の観客動員を達成できました。一方で、2018年7～8月は連日35℃以上の気温が続いたため、熱中症疑いの観客も複数出てしまいました。昨今の気候変動の影響から、2018年が異様な暑さだったわけではなく、今後も厳しい暑さの夏が毎年来ることは想定できましたので、2018年の夏を境により一層熱中症対策に取り組んでいます。



←地元サッカーチームへのインタビュー記事



暑い日でも、元気いっぱいの子どもたちを保育している豊田市のこども園（若宮こども園）に、夏の熱中症対策の取組についてお聞きしました。

夏季期間は、子どもたちはどのように活動していますか？



気候変動への適応策として、屋外で活動する前には**必ず熱中症指数計**（以下、指数計）**で計測**し、活動できるか、時間

こども園へのインタビュー記事→

「豊田市地域気候変動適応情報プラットフォーム」ホームページ

⇒豊田市版の気候変動や適応に関する基礎的な知識の習得や情報発信をするサイト



熱中症対策の事例③ クーリングシェルター (R5~)

- 公共施設 5 7 施設、民間施設 2 施設の計 5 9 か所
- 熱中症予防のための啓発チラシや熱中症予防グッズ（塩タブレット、冷感シート）を配布（グッズの配布は公共施設のみ。）



＜市役所本庁舎＞



＜ショッピングセンター＞



＜オリジナル啓発デザイン＞→

がまんせず、熱中症予防を。

熱中症対策の事例④ 熱中症対策ための人づくり (R5～)

- 大塚製薬（株）との連携事業として、同社が主催する「**熱中症対策アンバサダー講座**」を開催
- R5年度は、70人が受講（スポーツ推進委員、スポーツボランティア、市民活動団体スタッフ、企業、市職員など）

熱中症対策アンバサダー講座 2023

本講座は右記団体の協力を得て開催します：春日市

- 日時：2023年08月17日（木）09:00～11:00（開場：09:00）
- 会場：豊田市役所東庁舎7階 大会議室
- 住所：471-8501 愛知県豊田市西町3丁目6-0
- 応募締切：2023年08月15日（火） 中
- 定員数：70名様

(注意)メールアドレスのない方は受講できません

実施内容

お申し込み後、受講証をメールにてお知らせします。当日は、受講証をプリントアウトして持参し受付にてご提示ください。(※スマートフォン等での画面表示でも可能)

講義 I 「熱中症について知る」

講義 II 「熱中症対策」
大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカals事業部

トピックス 「気象予報士と学ぶ！2023年の熱中症対策」
(大塚製薬株式会社作成動画)

確認テスト

- 講義終了後確認テストを行いますので、インターネットが繋がるモバイル端末(パソコン、スマートフォン、タブレット等)をご用意ください。
- 熱中症対策アンバサダーの認定には、当講座を受講し、確認テストに合格する必要があります。
- 確認テストの有効期限は講義の開始時間より2週間となります。当日ご都合により遅れた場合でも、期限内に確認テストを受了(受講合格)ください。

お申込み方法

下記のURLもしくは二次元コードよりアクセスし、お申込みください。

<https://nccx.otsuka.com/>

● 注意事項：● 申込書のメールアドレスを登録される場合、申込画面にないように入力、no-reply@otsuka.jpからのメールを受信できるように、設定の「届かない」を解除してください。
● 届かない場合は、応募が完了していない可能性がありますので、事務局へお問い合わせください。
● 受講証通知・受講者への修了証発送通知・問い合わせは返信メール：no-reply@otsuka.jp

問い合わせ先 「熱中症対策アンバサダー講座事務局」 URL: <https://opnc.info/hamb>
TEL: 0-20-610-0221(受付時間:9:00～18:00) 携帯

主催：大塚製薬株式会社 後援：岡崎市 特別協力：春日市

熱中症対策アンバサダー講座 2023

生を助くためには、個々で気を付くとはもちろんですが、正しい知識を正しくおこなうことが必要です。熱中症対策の啓発・普及活動に必要な専門的な知識を学んでいけます。当講座を受講し、確認合格され、アンバサダー会員として「登録」には、「熱中症対策アンバサダー」が証明する「修了証」を交付します。

熱中症対策アンバサダーの活動イメージ

企業、学校、自治体、大塚製薬 サポート

熱中症対策アンバサダーの活動イメージ

アンバサダーの活躍フィールドの一例

- 地域イベントなど
- 運動会・スポーツ競技会など
- 子ども高齢者への声かけなど

「熱中症対策アンバサダー講座」実施概要

資格 受講料

も受講いただけます。 無料【修了後の更新は不要(無期限)】

修了者には、認定証が配付される。

修了証

内容

- 熱中症対策のための知識習得の講義（1時間程度）
- 動画視聴（15分程度）
- 確認テスト（15分程度）

修了者には、認定証が配付される。



● 熱中症対策の体制整備の見直しと役割の明確化

- ・ 熱中症**特別**警戒アラートへの対応
- ・ 災害時や避難所の熱中症対策
- ・ 自治体、企業、学校、小売店、社会福祉協議会、自治区などが一体となって、熱中症対策ができる仕組みづくり

● 官民連携での熱中症予防プロジェクトの拡大

- ・ 専門家（民間）による熱中症予防対策講座の開催
- ・ 専門家（民間）による熱中症予防の体づくり講座の開催
- ・ クーリングシェルターの民間協力企業の拡大（普及団体の指定）
- ・ 熱中症啓発グッズ配布の協賛 等